第１回　SSH 課題研究教員研修会

日時　令和５年６月１５日(木)
場所　愛知県立一宮高等学校
講師　京都教育大学　名誉教授 村上 忠幸 先生
　　愛知県総合教育センター 指導主事 久保 優一 先生
　　指導主事 中村 羊大 先生
参加者 高校教員 47 名
（南陽１名、常滑１名、津島２名、碧南工科１名、三好１名、明和２名、愛知総合工科２名、稲沢緑風館１名、大府２名、成章１名、旭丘１名、江南１名、杏和１名、阿久比１名、衣台１名、豊田北２名、足助１名、岡崎北１名、岡崎工科１名、刈谷北１名、刈谷東１名、安城１名、西尾東１名、豊橋東１名、国府１名、御津あおば１名、新城有教館１名、一宮西１名、一宮１４名）

研修会参加者に午前は、学校設定科目「SSH 課題研究」の授業の参観をしていただきました。午後の前半は探究活動における効果的な班編成の手法となるＭＩ（マルチプル・インテリジェンス:多重知能理論）についての講義と実習を受けていただき、後半で班ごとに、探究活動「紙コップの不思議」を体験していただきました。班分けは参加者が実習した MI をもとに行い、探究活動も「SSH 課題研究基礎Ｉ」で生徒が実際に行うものを体験していただきました。最後に、「省察」に関する講義を受け、実験班ごとで省察を行いました。活動を振り返ることで深い学びにつながることを実感していただけた研修会となりました。

講演会の様子

授業参観の様子

実習「紙コップの不思議」の様子

実習「デボノの帽子（省察）」の様子